



# 株式会社 ギアエイト Gear8

サイトデザインやWebを活用したマーケティングなどを行うウェブディレクションチーム。2016年に現地法人を立ち上げたタイのバンコクのほか、タイのチェンマイ、2018年に進出した台湾に海外拠点をもち

展開国・地域 2016年 タイ  
2018年 台湾

**企業情報** 所在地: 北海道札幌市 従業員数: 20名  
設立: 2009年10月 URL: <https://gggggggg.jp>

**事業内容** Webサイトのデザイン・コーディング及び構築/  
Webを活用したマーケティング戦略の立案 / Webによる広告業



1 2 3 台北市内、台北花博公園にもほど近い「北創新中心」内に置かれたオフィスの様子



## 5年間の国内活動期間を経て、東南アジアへ進出

2008年の独立当初から上海などで仕事をする機会があり、その経験から海外は視野に入れていました。2013年ごろから海外進出を本格的に考えたのですが、日中関係があまり良くない時期で中国進出は難しいと感じました。これに対してタイは、札幌とバンコク間の飛行機が増便し、タイから来日する際のビザが緩和されたタイミングで、訪日外国人旅行者向けのメディアを作りたいという考えもあり、まずはタイに拠点を構えることにしました。タイの現地法人設立は2016年8月ですが、準備の間はジェットロ・バンコク事務所のビジネス・サポートセンター (BSCT) を借りて拠点にしました。同じく海外進出の準備中の方々ばかりでしたので情報交換ができ、その点もすごく助かりました。弊社は2020年までに10エリアへ展開することを目標に掲げていて、台湾への進出は、タイ法人を立ち上げて1年が経ったところから検討し決めました。

## エリアの特性に合わせた採用活動で優秀な人材を獲得

台湾は日本と文化が近く、デザインが得意な人材が豊富で、北海道への旅行者も年間40万人前後と非常に多いです。香港を見ることができ、ゆくゆく中国に進出する際にもプラスに働くだらうとも考えました。海外ビジネスに精通している専門家にアドバイスをもらうことで、2拠点目をスムーズに立ち上げたいと考え、ジェットロ「新輸出大国コンソーシアム」の専門家支援を受けることにしました。主に行政関連機関との連携を積極的に実施してもらい、人材雇用の優先度やタイミングなどについてもよくアドバイスを受けていました。法人設立に当たってはジェットロのほかには日系の会計士事務所にお手伝いいただきました。手続きに要する時間はタイより短く、その点ではハードルが低いと言えます。ただ、人材採用には苦労しました。台湾には日本語の堪能な方が多く、かえって弊社が求めているデザインスキルや提案力を見極めるのが難しかったからです。2人を採用するのに40人ほど面接しました。

## 多国籍メンバーで新しいクリエイティブに挑戦する

現在は、国内2拠点、タイ2拠点、台湾1拠点の5箇所に事務所を構え、6拠点目としてカンボジアのプノンペンが候補です。ジェットロのミニ調査サービスを利用して、SNSの普及率やネットインフラ環境などを調査して検討中です。海外進出のメリットは、人材とアイデアの確保。海外の安い人材を使ってコスト削減を図るのではありません。例えば、タイの方は非常にグラフィカルできれいなWebサイトを制作するなど、国ごとに得意分野が違います。それぞれのスキルとアイデアで仕事を補完し合っています。当面の目標は、10エリア・各8人常駐で合計80人体制にすることです。そこからがスタートで、その後はエリア間の人材交流も盛んにし、より高め合っていければと思います。私たちの業界は、机とパソコンがあれば働く場所は選びませんので、海外進出の壁も高くないはずで、「活躍できそうなら出る、ダメなら引く」と、フレキシブルに考えて、海外進出を進めていきたいです。



代表取締役

水野 晶仁 氏

アイディアは国境を超える  
少人数で多エリア展開する  
新しい形のクリエイティブチーム

専門家からのポイント



Gear8はWeb Site制作およびWebマーケティング事業を展開しています。まず自社でタイに現地法人を設立し、台湾でも現地法人を持ち、事業をアジア全体に広げる意図を持っていました。2018年9月に台湾現法が立ち上がりましたが、チャレンジは営業先確保に加えて「人材の確保」でした。希望の人材(日本語堪能・Web関係の提案能力)と出会わず、人材会社を通じて30~40人の候補者と会い、結局男女各1名が入社することになりました。どの地域・国であっても同様な問題は発生しますから「諦めずに粘り強く探す」が肝心ですね。